

## 第24回日本分子生物学会年会

### 保育室・親子休憩室設置に関する報告書

2002年2月 第24回日本分子生物学会年会・保育室設置ワーキンググループ  
2002年7月 Appendix3 改訂

昨年横浜で開催されました、日本分子生物学会第24回年会の「保育室の設置・運営に関する報告書」がまとまりました。初めての年会保育室も成功裏に終わり、これも学会員の皆様のお陰と感謝致して居ります。ここに掲載しましたファイルは、この1年間の経過報告をはじめとして、アンケート調査、会計報告、ワーキンググループからの要望等も盛り込んだ最終報告です。APPENDIX にあります「利用者の声」や「他学会における保育室設置状況」も、今後の分子生物学会年会保育室の継続的な運営のために、是非参考にさせていただければ幸いです。また、APPENDIX はダウンロードしてご覧になることもできます。

報告書の中でもふれましたように、現時点では、保育室が設置されるかどうかは年会ごとに決定されるわけですが、今後も継続して保育室が運営できるよう保育室設置を学会として認めて頂きたいと思えます。今後とも、評議員の諸先生方のご理解と会員の皆様のご協力を是非ともお願い申し上げます。なお、最後になりますが、分子生物学会と同規模の日本生化学会の保育室は、学会事務局が運営していることも、ここに申し添えます。

第24回日本分子生物学会年会・保育室設置ワーキンググループ一同

## 目次

### 1. 概要

### 2. 保育室の設置と利用の報告

#### 2-1 設置までの経過

#### 2-2 運営状況

##### 保育室の様子（写真）

#### 2-3 利用状況

#### 2-4 会計報告

#### 2-5 賛助企業

### 3. 保育室の利用者および一般会員の声

#### 3-1 利用者向きアンケートの結果

#### 3-2 一般会員向きアンケートの結果

### 4. 保育室に関する反省点と将来の課題

### 5. 親子休憩室に関する報告

#### 5-1 運営と利用状況

#### 5-2 利用者の声

#### 5-3 反省と検討事項

### 6. あとがきと提案

### 7. APPENDIX 1 今回作成した書類

#### 7-1 策定書

#### 7-2 申込書・同意書

#### 7-3 利用規定

#### 7-4 連絡票

### 8. APPENDIX 2 分子生物学会年会保育室利用者の「生」の声

### 9. APPENDIX 3 他の学会における保育室運営形態

## 1. 概要

### <設置の要望とワーキンググループの結成>

平成12年度の第23回年会（神戸）の際に、多くの会員から要望が出されていたこともあり、山本前年会長は菊池淑子・大坪久子の両会員に年会保育室設置・運営の可能性を検討するよう依頼、両名は平成13年3月に、設置・運営が可能との策定書（「APPENDIX 1 今回作成した書類」参照）を提出したという経緯があった。その後、前年会長の決断によって、平成13年5月の時点で年会保育室設置が認められた。策定書を提出した両名は、実際に保育室を利用する年代の会員3名（池島宏子、三宅早苗、木村洋子）と共にワーキンググループ（以後WGと略）を結成、年会保育室を準備し、運営した。

### <第24回年会保育室設置の概要>

会場の一室に備品をレンタルし、シッター会社より利用人数に応じて保育士を派遣（約3名/日）してもらい、年会期間中、年会保育室として常設した。シッター会社は、全国ベビーシッター協会およびシッター業経営者賠償保証加入のアルファコーポレイションを選び、この会社との契約は11月に年会長との間で取り交わされた。利用希望者には、あらかじめ予約をしてもらい、保育料は、最終的には、ゼロ歳児800円/時間、一歳児以上600円/時間と設定した。1日平均9名、17家族、延べ34名の利用者があった。

財政面では、部屋と備品の設置費用（14.5万円）を年会から、人件費（36.5万円）を利用者の負担（108,500円）と11社の企業からの寄付で賄った。企業からの寄付（合計39万円）や利用者の保育料は年会経費とは別枠で、保育室用として学会センターに振り込んでもらい、余剰金は次年度以降の繰越金とした。

安全面では、事故に対してシッター会社が加入する保険が適用されることを明示して、利用者の保護者から同意書を提出してもらい、万が一の事故に対しては年会およびWGが責めを負うことのないよう配慮した。幸いにも、今回、事故はなかった。

詳細は、以下の各項目に譲りますが、今回の保育室は、女性研究者のみならず、男性研究者からの申し込みも多数あり（「2-3 (b) 利用者の統計的特徴」参照）、夫婦ともに分子生物学会の会員の場合が多々見受けられました。このことから、初の保育室設置によって、年会保育室は女性研究者だけのものではなく、子育て中のすべての研究者に必要なものであることがよく判りました。

一方、利用者の延べ人数の34人という数字は、他の学会に比して最多数であり（「APPENDIX 3 他の学会における保育室運営形態」参照）、分子生物学会における年会内保育室のニーズが高かったことも把握できました。

今後の分子生物学の自然科学分野への貢献度を考えると、日本分子生物学会員数の一層の増加が見込まれ、それに伴い年会内保育室の利用者も増えるであろう事は容易に想像できます。今後、年会内保育室が日本分子生物学会主体のものになって行くことを強く希望いたします。

## 2. 保育室の設置と利用の報告

### 2-1 設置までの経過

2月10日 第1回WG打ち合わせ ワーキンググループ（以後WGと略す）を結成した。

メンバーと役割分担：

大坪久子会員（年会長との連絡、交渉、及び、対利用者連絡担当）

菊池淑子会員（年会長との連絡、交渉、会計監査担当）

池島宏子会員（渉外：対シッター会社、対企業担当）

木村洋子会員（会計、アンケート担当）

三宅早苗会員（渉外：対学会事務センター、対パシフィコ横浜担当、及び書記）

3月3日 第2回WG打ち合わせ 問題点とその対策について検討し、具体的な運営方法を提案した。シッター会社の選択を行なった。

2月号の会報及びHP アンケート調査：保育室利用希望者に大坪会員に連絡するよう呼び掛けた。

3月中旬 大坪会員と菊池会員が、保育室案件策定書を年会長に提出した。

5月 保育室設置が決定の通知があった。

6月号の会報

保育室の詳細（保育時間・保育形態・保育料の予定・対象など）を掲載。

第一次申し込み締め切りは9月3日（大坪会員へ連絡する）と呼び掛けた。

7月 寄付を約束してくれた企業に寄付の依頼書を発送した。

寄付の依頼の送付、受付、管理は学会センターが行なった。

振込先は他の寄付と同じ口座とし、一般の寄付とは帳簿上で別けた。

8月31日 要旨締めきり

9月3日 保育室申し込み第一次締めきり

この時点での予約者は14家族：このうち実際の利用者は7家族

9月8日 第3回WG打ち合わせ 保育室運営に関すること（保育料・必要な備品・受付方法など）を相談し、必要書類（申込書、連絡票、利用規定）やプログラム原稿の内容を検討した。

9月上旬 展示ブースを利用する企業に寄付の依頼を発送した。発送はエーイー企画が行ない、寄付の受付・管理は学会センターが行なった。

10月6日 第4回WG打ち合わせ：会場の下見+シッター会社とWGの顔合わせと話し合い、具体的な受付方法やレンタル品などをシッター会社と相談して決めた。

各日ごとの時間管理表（利用者名と予約時間の一覧表）の作成をシッター会社に依頼した。

寄付の申し込み状態を参考にして、保育料を決定した。

10-11月 プログラムとHP

保育室の詳細（6月号と同じ）+決定した保育料を案内した。

最終締め切りは11月30日（利用者は大坪会員に連絡する）と呼び掛けた。

11月14日 年会長とシッター会社とが契約を取り交わした。シッター会社の担当者が、大坪会員、菊池会員とともに、年会長の所に出向いて行なった。契約後ただちに、大坪会員から申し込み者に必要書類を送り、それに従って、利用者は直接シッター会社へ、なるべく11月30日までに申し込むよう伝えた。

添付書類：利用規定書、申込書・同意書、連絡票

利用者は直接シッター会社へ申し込んだ（利用予定日の3日前まで可）。シッター会社は申し込みを受けるとすぐにWGに連絡を入れ、WGでも予約を確認した。

11月15日 寄付受け付け締めきり

11月17日 第5回WG打ち合わせ：チーフシッターとの顔合わせ+シッター会社との最終打ち合わせ 保育室のレイアウト、具体的な受付方法等を確認した。

11月30日 申し込み受付最終締めきり この時点での予約者は17家族：このうち実際の利用者は16家族  
12月上旬 シッター会社より以下の書類をWGに送付した。

決定書（最終見積もり書）：11/30の予約者の数と年齢構成をもとに、レンタル品とシッターの数を決定した。

時間管理表：予約者と予約時間を記入したもの

前日 保育室に必要なレンタル品の搬入、保育室のセットアップを行なった。

セットアップはすべてシッター会社が行ない、WGのメンバーが確認した。

年会期間中 WG は当番を決めておき、開始、終了、緊急時の連絡を携帯電話で受けた。(緊急連絡を受けた場合には、当番がすぐに対処できるようにした)

年会最終日 当番が保育室にいき、申込書・同意書を回収した(後日大坪会員に郵送した)。

全てレンタル品を搬出した(そのため19時まで延長して部屋を借りた)。

搬出はシッター会社が全て行ない、搬出終了の連絡をWGに入れた。

年会終了後、シッター会社は会計担当の木村会員に時間管理表と連絡票のコピーを郵送し、会計担当の木村会員はそれをもとに利用者それぞれの保育料を計算した。

12月下旬 利用者に保育料請求書とアンケートを送付した。

1月11日 保育料振り込み締めきり。利用者は保育料を寄付と同じ口座に振り込み、学会センターが入金確認を行なった。

1月12日 第6回WG打ち合わせ 反省会と報告書作成

1月25日 学会センターを通してシッター会社へ支払いをした。

#### <事前に行なったこと>

1) WG間の連絡と意見交換の目的でメーリングリストを設置した(hoiku-net@umin.ac.jp)。

2) 個々の企業の担当者に事情を説明し、寄付の内約をとりつけた(池島会員)。

3) 会場・備品の下見をした。

4) レンタル品の手配をした。

ほとんどの物はシッター会社が手配したが、外線電話、机と湯茶セットはパシフィコ横浜から借りた(学会センターを通して頼んだ)。

5) 保育室の直通電話の番号を学会センターから聞き、利用規定に記入した。

6) 搬入搬出の方法、当日の保育室の鍵の開け閉め、ゴミすての方法を学会センターとパシフィコ横浜とで打ち合わせ、シッター会社に連絡した。

7) 保育室の近くのエレベーターホールを禁煙スペースとしてももらった。

8) シッター会社に利用者が提出する書類(ファイル)をあらかじめ送っておき、印刷して、当日予備として保育室に設置してもらった。

9) 年会当日の当番と、その携帯番号をシッター会社に連絡した。

10) シッター会社へ年会会場の配置図(プログラムの前の部分)を渡した。

#### <当日行なったこと>

1) 当番は携帯電話を持ち歩き、保育室開始および保育室終了の連絡を受けた。緊急連絡を受けた場合には、すぐに保育室にいき対処できるようにした。

2) 会場ブースに寄付をくれた企業のポスターを配った。

3) 掲示板に寄付企業一覧表のポスターを貼った。

#### <年会終了後行なったこと>

1) 保育料の計算及び改定(値下げ)をした。

2) 木村会員が利用者への請求書の発送をした。

3) 保育料の入金確認をした(学会事務センターを通して)。

4) シッター会社への支払いをした(学会事務センターを通して)。

5) 会計報告をし、菊地会員が会計監査を行なった。

6) 利用者アンケート、一般向けアンケートの集計をした。

7) 報告書を作成した。

<作成した書類など>

- 1) 策定書
- 2) 利用規定
- 3) 申込書・同意書
- 4) 連絡票
- 5) 利用者への請求書
- 6) 契約書
- 7) シッター会社との覚え書き
- 8) 会報に掲載した案内
- 9) 年会ホームページに掲載した案内
- 10) プログラムに掲載した案内
- 11) 寄付企業に対するお礼のポスター（会場の掲示板に掲示）
- 12) 寄付企業に配付したポスター（各展示ブースに掲示）
- 13) 利用者向きアンケート
- 14) 一般向けアンケート

これらの書類はすべてメールで添付書類としてWGのメンバーに送り、全員で検討し、確認をした。上記のうち1)から4)の書類は<APPENDIX 1>に掲載している。

## 2-2 運営状況

設置期間：2001年12月9日(日)\_12日(水) 計4日間

設置時間：8:30\_19:00 (12日:\_16:30)

設置場所：パシフィコ横浜・会議センター内の一室

保育対象：学会参加者の子供(産休明け\_小学3年生)

利用料金設定：

0歳 1000円/hr (利用後800円/hrに値下げした)

1歳以上 800円/hr (利用後600円/hrに値下げした)

ベビーシッター会社：アルファコーポレーション

(全国ベビーシッター協会およびベビーシッター業経営者賠償保証加入)

利用申し込み方法：

(1) HPおよび年会プログラムでアナウンス

(2) 利用希望者はWG代表者の大坪久子会員へ申し込む

(3) 大坪久子会員は、1)利用規定、2)申込書・同意書、3)連絡票(以上3書類は「APPENDIX 1」を参照)をメールまたは郵送にて利用希望者へ送る

(4) 利用者希望者はアルファコーポレーションへ予約する

利用申し込み締切日：11/30(金) 当日予約も可

利用人数： 詳細は「2-3) 利用状況」参照

	予約者	利用者	シッター配置人数
12/9 (日)	9人	10人 (当日申し込み1人)	3人
12/10 (月)	9人	8人 (当日キャンセル1人)	3人
12/11 (火)	11人	10人 (当日キャンセル1人)	3人
12/12 (水)	6人	6人	2人
	合計 35人	合計 34人	

運営費： 詳細は「2-4) 会計報告」参照

保育室の会場費，設備費は学会負担

シッター代は企業からの寄付および利用者負担

緊急時対応：

4日間とも各日WGのうちの一人を連絡当番係とし、当番表を作成し、当番は携帯電話を常備してシッターからの緊急連絡に備えた。また、当番表はシッターに渡し、当番は保育開始時および終了時にシッターより連絡を受けた。さらに、万が一のケガや病気に備えてあらかじめ利用者には近隣病院施設の紹介をした。

ケガ・事故等の発生：1件

大きなケガ・事故等はなかったが、2日目に保育室の扉に手を挟んだ子供が1名いた。

処置方法・・・担当シッターがぬれタオルですぐに冷やした。痕は残らず、大事には至らなかった。

対応・・・お迎えの際にシッターが保護者に報告。翌日、シッター会社から母親に連絡を入れ、子供の様子を聞いた。また、後日、WGから謝罪の連絡をした。

[保育室の様子 \(写真\)](#)

## 2-3 利用状況

### (a) 予約時間と利用時間

保護者	児童年令	予約時間帯	予約時間	利用時間帯	利用時間
12月9日					
No.1	1	9:30-12:00,14:00-18:00	6h30	14:30-16:50	2h20
No.2	6	9:00-11:00,12:00-16:00	6h00	9:00-11:00,12:00-16:00	6h00
No.3	4	16:00-18:00	2h	16:00-18:00	2h
No.4	4	13:40-16:00 (当日予約)	2h20	13:40-15:40	2h
No.5	0	8:30-15:30	7h	8:30-15:30	7h
No.6	8	8:30-12:15,13:30-17:30	8h	8:30-11:55,13:30-17:30	7h25
No.7	5	8:30-12:00,13:30-18:30	8h30	8:30-11:50,13:10-17:45	7h55
No.8	5	9:00-12:00	3h	9:00-11:40	2h40
No.9	4	8:30-12:00,13:30-18:00	8h	8:30-11:55,13:30-17:05	7h
No.10	4	9:30-12:30,13:30-19:00	8h30	10:15-12:30,13:45-18:50	8h20
利用者計 10名					
12月10日					
No.7	5	8:30-12:00,13:30-19:00	9h00	8:45-12:00,13:30-18:40	8h25
No.11	2	8:30-13:30	5h00	8:30-14:00	5h10
No.6	8	8:30-12:00,13:30-17:30	7h30	9:00-11:50,13:40-18:00	7h10
No.12	2	16:00-19:00	3h	14:20-19:00	4h40
No.13	2	13:30-16:30	3h	13:25-16:30	3h05
No.8	5	9:00-11:30,15:00-17:00	4h30	9:30-11:30,15:00-17:10	4h10
No.14	3	9:00-11:30	2h30	9:10-11:45	2h35
No.1	1	9:00-12:00,16:00-18:00	5h00	cancel	0h
No.10	4	9:00-12:30,13:30-17:00	7h	10:20-12:40,13:45-16:45	5h20
利用者計 10名	8名				
12月11日					
No.1	1	9:00-12:00,14:00-18:00	7h	9:15-12:00,14:00-18:00	6h45
No.11	2	13:30-17:00	3h30	13:45-19:00	5h15
No.14	3	9:00-11:30	2h30	8:50-11:20	2h30
No.15	5	13:00-17:00	4h	14:00-17:40	3h40
No.15	0	13:00-17:00	4h	14:00-17:40	3h40
No.8	5	9:00-12:00,13:30-16:00	5h30	9:15-11:40,13:30-15:50	4h45
No.16	5	13:00-19:00	6h	11:00-11:20,13:00-19:00	6h20
No.17	2	16:30-18:30	2h	16:40-18:30	1h50
No.17	2	16:30-18:30	2h	cancel	0h
No.7	5	8:30-12:00,13:30-18:30	8h30	8:40-11:55,13:30-18:30	8h15
No.6	8	8:30-12:00,13:30-18:00	7h30	9:00-11:45,13:00-18:15	8h
利用者計 11名	10名				
12月12日					
No.15	5	8:45-12:15	3h30	9:00-12:15	3h15
No.15	0	8:45-12:15	3h30	9:00-12:15	3h15
No.14	3	9:00-11:30	2h30	9:00-11:10	2h10
No.1	1	13:30-16:00	2h30	13:30-15:45	2h15
No.13	2	13:00-15:00	2h	13:00-14:50	1h50
No.8	3	9:00-12:00,13:30-16:00	5h30	9:00-11:40,13:15-16:00	5h25
利用者計 6名					



(b) 利用者の統計的特徴

(1) 参加形態 (全17家族)

両親共参加	11
母親が参加	4
父親が参加	2

(2) 利用家族の居住地

東京、横浜周辺	7
筑波	4
関西方面	4
九州	2

(3) 子供の年齢 (子供の人数 18人)

0歳	2
1歳	1
2歳	4
3歳	1
4歳	4
5歳	3
6歳	2
8歳	1

(4) 1人の子供の利用日数

1日間	9
2日間	4
3日間	4
4日間	1

(5) 1家族当たりの保育料 (0歳800円/時間、1歳以上600円/時間)

保護者番号	保育料
A	15,600
B	14,100
C	11,100
D	10,500
E	9,300
F	7,800
G	6,600
H	5,600
I	4,800
J	4,500
K	3,900
L	3,600
M	3,000
N	3,000
O	2,400
P	1,500
Q	1,200

## 2-4 会計報告

2001年度日本分子生物学会年会保育室の収支決算は以下の通りになりましたので、報告いたします。  
(会計 木村洋子)

### 2001年度日本分子生物学会年会保育室会計収支決算報告書

収入の部 (単位: 円)

科目	金額	備考
年会補助費	145,000	保育室設備費
企業寄付	390,000	計 11 社、1)-5 賛助企業の項参照
利用者負担費	108,500	
収入合計	643,500	

支出の部 (単位: 円)

科目	金額	備考
保育室設備費	145,000	アルファコーポレーションからの請求書参照
保育室人件費他	390,500	アルファコーポレーションからの請求書参照
準備費	4,880	事務通信費 2490 円、印刷費 540 円、文具代 440 円、記録写真代 1410 円
支出小計	540,380	
次年度繰越し金	103,120	
合計	643,500	

### 2001年度会計監査報告

2001年度の日本分子生物学会年会保育室の収支決算報告に際し、会計帳簿、領収書、日本学会事務センター出納記録などの監査を行ない、決算に誤りのないことを確認しました。

2002年2月16日 菊池淑子 印

## 2-5 賛助企業

賛助企業名	寄付額
インビトロジェン株式会社	90,000 円
アトー株式会社	30,000 円
岩井化学薬品株式会社	30,000 円
シグマアルドリッチジャパン株式会社	30,000 円
株式会社トミー精工	30,000 円
タイテック株式会社	30,000 円
クロンテック株式会社	30,000 円
株式会社バイオクラフト	30,000 円
株式会社池田理化	30,000 円
東京サイエンス株式会社	30,000 円
日本フリーザー株式会社	30,000 円
計	390,000 円

### 賛助金について

春頃、ワーキンググループが、企業の担当者に直接交渉し、寄付の内約を得た。7月に、学会センターが、内約企業に寄付依頼書を発送した。9月には、エーイー企画が、展示ブースを持つ企業に対して寄付依頼書を発送した。寄付の受付、管理は、学会センターが行った。

上記の企業からの寄付によって、0歳では2500円/時間、1歳以上では、2000円/時間になるはずの保育料が、0歳800円/時間、1歳以上600円/時間の料金にすることができた。

ワーキンググループは、<保育室をありがとう>というコピーの感謝を示すポスターを作成し、それに全賛助企業の名前をいれ、学会中、いくつかの会場の掲示板と保育室に掲示した。さらに、展示がある企業に対しては、<保育室をありがとう>のポスターを、各ブースに配った。

### 3. 保育室の利用者および一般会員の声

#### 3-1 利用者向きアンケートの結果

回答数 16 (利用家族 17)

- 1 子供の年齢 0歳～8歳
- 2 保育日数、及び時間数 1日～4日、2時間～26時間
- 3 申し込みの案内、手続き方法について、どう評価しますか。又、意見があれば記入して下さい。  
(a)非常に満足 8 (b)満足 5 (c)普通 3 (d)不満足 0 (e)非常に不満足 0

意見

- ・メールでやり取りができるのは便利 2人
- ・わかりやすかった。
- ・利用規定は早めに知らせてほしい。
- ・予約の変更の時期で、先方との食い違いがあって困惑した

- 4 保育室の環境及び設備についてどう評価しますか。又、意見があれば記入してください。

(a)非常に満足 12 (b)満足 4 (c)普通 0 (d)不満足 0 (e)非常に不満足 0

意見

- ・加湿器も設置してあり、おもちゃも多く良かった。
- ・明るい部屋でいい感じだった。
- ・場所、広さ、設備ともに満足。子供も楽しそうに走りまわっていた。
- ・場所も少し奥まわっていて静かよかった。
- ・光が差し込む広い部屋だった。

- 5 シッター及び保育方法についてどう評価しますか。又、意見があれば記入してください。

(a)非常に満足 9 (b)満足 6 (c)普通 1 (d)不満足 0 (e)非常に不満足 0

意見

- ・お昼寝の時間を作ってくれたのがありがたかった。 2人
- ・工作のようなこともさせてもらってよかった。 2人
- ・知り合いのお子さんがいたので、子供にとっては安心できたようだった。
- ・2日間とも子供がお腹をすかせていたので、初日の段階でおやつが足りない等の連絡をもらえればよかった。
- ・シッターさんもいい人ばかりで子供も楽しく過ごせた。
- ・ビデオを随分みたのが気になる。
- ・細やかにみてもらえた。
- ・子供は楽しんでいた。
- ・どの人がシッターだかわからなくて少し困った。

- 6 保育料について意見があれば記入して下さい。(尚、今回の保育室では、分子生物学会年会から部屋の提供及び設備の補助、また企業からは寄付を頂き、その上で保育料を決定しました。)

注：保育料は0歳1000円/時間、1歳以上800円/時間と設定したが、学会終了後それぞれ800円/時間、600円/時間に引き下げた。

(a)高い 0 (b)適当 5 (c)安い 8 (d)高いが仕方ない 2

(b)に対する意見

- ・一般的な価格よりは安いですが、我が家の経済状態を考えると適当。
- ・年令のわけ方をもう少し細かくしてもよい。(4歳以上はもっと安くしてもよいのではないか)
- ・最初は高いと思ったが値下げしたので、適当だと思う。

(c)に対する意見

- ・外部の保育室を利用するのに比べ、格段に安い料金で利用できた。
- ・企業からの寄付は、利用しない人に対して申し訳ない。利用者が負担してもよい。

- 7 また、保育料は、利用状況を完全に予測できないことから、少し高めの設定になりました。これについてどう考えますか？ 尚、余った若干の寄付金は翌年に繰り越せます。又、意見があれば記入してください。

(a)あらかじめ決まっていた方がいい。 4

(b)ある程度幅を持たせて(上限と下限を)決めておき、利用後、寄付と利用状況に応じて決定する。 10

(b)に対する意見

- ・あらかじめ決まってもよいが、料金が高いと感じた場合、利用しないことも考えられるので、(b)がいいと思う。
- ・利用後、料金が上がることには抵抗があるが、下がる分にはよい。
- ・今回の方法で充分である。

8 今回、ワーキンググループが予期していませんでしたが、学会会場側が、会議センターの入口に保育室の立て看板を作っており、誰でもどこに保育室があるのかわかるようになっていました。この保育室の掲示についてどう思われますか？ 又、意見があれば記入してください。

(a) 利用者以外知らせない 8

(b) プログラムには入れないが、当日の看板はあった方がいい 6

(c) プログラムにも場所を知らせ、また、当日の看板もあった方がいい。 1

(a) に対する意見

- ・ただし、寄付をしてくれた企業を open にするのと、保育室のアピールのためにあることを示す表示はあってもいいと思う。
- ・当日、看板がでていたので、びっくりした。

(b)に対する意見

- ・看板に場所まで明記するのは疑問だが、保育室があることを他の参加者に知ってもらうためにはよい。
- ・あまり秘密にするのも不安。
- ・保育室の場所は明らかにしないが看板はあったほうがいい。
- ・当日保育室の場所がすぐわかる。
- ・保育室を利用して学会に参加している人がいるということを他の人に理解してもらえる。

(c)に対する意見

- ・当日保育室の場所がすぐわかる。
- ・保育室を利用して学会に参加している人がいるということを他の人に理解してもらえる。

その他の意見

- ・当日利用の利用者にとってはとても便利だった。
- ・会場への入場が警備されていれば問題ないと思う。

9 その他保育室について改善すべき点、及び希望する点を記入して下さい。(各種書類、送り迎えの仕方等)

- ・同意書等、先に fax などで送っておいた方が、当日時間がかからなくてよい。
- ・保育料の軽減
- ・保育日程の申し込みをもう少し遅らせてほしい。
- ・泣いている子を預けるときに受け渡しがもう少しスムーズにできたらと思った。
- ・携帯電話の番号を知らせておいたが、会場では不通だった。
- ・子供をつれていない人の出入りがあったのには驚いた。
- ・前室があってその奥が保育室という構造の方が良いのではないか。
- ・飲み物を含めおやつ等を持たせたかった。(夕方までだとお腹がすく)
- ・急な予定変更にも対応してほしい。
- ・できれば持参でもいいので、昼食もお願いしたい。

10 今後も保育室の設置を希望しますか？希望しない場合はその理由を記入してください。

(a)希望する 16 (b) 希望しない 0

11 今回、保育室の向かいに親子休憩室も設置しました。利用しましたか？ また、今後もこの設置を希望しますか？

(a) 利用した 6 (b) 利用しなかった 10

(a) 希望する 12 (b) 希望しない 0

### 3-2 一般会員向きアンケートの結果

回答数 57

1 性別 男 22 女 34 解答無し 1

2 大会会場の保育室の設置についてどう思いますか？ また、御意見を御記入下さい。

賛成(必要) 57 反対(不必要) 0

## 意見

- ・多くの女性が学会に参加しやすくなる。 2人
- ・今後利用する可能性がある。
- ・とても良い試みであると思う。
- ・女性研究者の潜在ニーズは多いと思うので、このような活動が広まることを期待する。
- ・子供がいるために参加しにくくなる研究者は多いはずと思うので、使える環境があるということはすばらしいと思う。
- ・核家族で夫婦で参加する場合など、あればとても助かる。
- ・だれでも安心して学会に来られる環境はいいと思う。
- ・保育室がなければ学会に参加できない。

3 大会会場の親子休憩室の設置についてどう思いますか？ また、何でも御意見を御記入下さい。  
賛成（必要） 5 7 反対（不必要） 0

## 意見

- ・大人と違ってゆっくり出来る場所が一ヶ所でもあると、とても便利だと思う。
- ・次世代の人間を育むのは社会全体の役割である、女性の役割が多くなってしまいがちの子育てのサポートの一環として、学会にこのような施設があるのはよいと思う。
- ・だれでも安心して学会に来られる環境になりいいと思う。

4 今回の保育室では、分子生物学会年会から部屋の提供及び設備の補助、また企業からは寄付を頂きました。その上で、利用料金を1時間あたり0歳児1000円、1歳児以上800円の保育料を決定しました。この点についてどう思いますか？

(1) 学会からの援助を受けるのに (a) 賛成、(b) 反対 である。またその理由を記入して下さい。  
賛成 5 5 反対 0 他 どちらでもよい 1

## 理由

- ・利用者の負担の軽減になる。 2人
  - ・必要性を理解し積極的に援助して欲しい。今までになかったこと自体不思議である。
  - ・参加者や参加予定者を増やし、また学生などへの励みになると思う。
  - ・まだ全体的に女性が少ない現状で、積極的に女性を優遇してもよいと思う。
  - ・学会の一部として認めるべき。
  - ・会員の参加が容易になれば学会の活性化にもなる。
  - ・女性研究者も増え、又男性も子育てに参加する社会的環境を整備する上で学会側の協力は必須。
- (2) 企業からの寄付を受けるのに (a) 賛成、(b) 反対 である。またその理由を記入して下さい。  
賛成 5 3 反対 3

## 賛成の理由

- ・利用者の負担が減るから。 2人
- ・メセナの1つであると思う。
- ・子育て中の研究者が外に出て、仕事をアピールできる可能性を広げて欲しいから。
- ・主旨に賛同して預けるのならば、寄付を受けることに何ら問題はないと思う。

## 反対の理由

- ・学会会費で収支する問題である。
- (3) 利用料金について (a) 高い (b) 安い (c) 適当である。またその理由を記入してください。  
高い 1 5 安い 4 適当である 3 3 他 わからない 1

## 高いという理由

- ・1日、または長時間預かってもらうには高い。 5人
- ・高いとは思いますが、寄付に頼っている以上、仕方がない値段だとも思う。

## 適当であるという理由

- ・駅前のベビーホテルとほぼ同じくらいだから。

5 その他、保育室、親子休憩室について希望する点を何でも記入して下さい。

## 保育室について

- ・最終日に初めて気付いた。もっと宣伝しても良いのでは。
- ・初日見学に立ち寄ったが、簡単に中に入れたので、安全性の面が少々不足と思った。

- ・他の学会にもアピールしてほしい。
- ・今回、予約なしで保育をしてもらい有り難かった。当日必ず出席できるとも限らないので、助かった。
- ・他の学会にも広まるとよい。
- ・赤ちゃん以外の保育室は学生のアルバイト、ボランティアに手伝ってもらおうなどして、低料金にすべきである。
- ・安全性、万一の事故等の責任問題が不明確。

#### 親子休憩室について

- ・少し暗い雰囲気でする気には、なれない。
- ・できれば床に座れるともっと良かった。(畳、じゅうたん等)

#### その他

- ・寄付してくれた企業をもっと宣伝してもよい。
- ・寄付金は企業サイドでは出しにくいので、展示会費の5%をあてるなどの活動がどうか？

6 今後の保育室の設置を希望しますか？ また、その理由を御記入下さい。

希望する 55 希望しない 0

#### 理由

- ・今後利用するかもしれないから
- ・学会にあって当然ということになってほしい。
- ・特に日曜日など通常の保育園が休みの時はなおさら必要。
- ・子育て中の研究者の研究支援になるし、子育て中でも研究発表できることが普通になるべきだと思う。
- ・子連れで学会参加が可能となるため。
- ・女性の学会参加に必要
- ・安心して業務に従事できるため。
- ・社会が子供の面倒をみるサポートをするのは当然だと思うから。
- ・会員の参加が容易になれば学会の活性化にもなる。
- ・子供にも親の様子を見せたいと思うから。

7 今後の親子休憩室の設置を希望しますか？ 又、その理由を御記入下さい。

希望する 54 希望しない 1

#### 理由

- ・将来使いたいと思うから。
- ・土、日が入ると連れて来る人も多いと思うから。
- ・子育て中の研究者の研究支援になるし、子育て中でも研究発表できることが普通になるべきだと思う。
- ・子連れで学会参加が可能となるため。
- ・女性の学会参加に必要
- ・頻度の高い親子のふれあいが必要と考えるため。
- ・社会が子供の面倒をみるサポートをするのは当然だと思うから。
- ・会員の参加が容易になれば学会の活性化にもなる。
- ・一緒に食事するので、まわりに気を使わずにすむ。

#### 4. 保育室に関する反省点と将来の課題

保育室の運営は「第 24 回分子生物学会年会・保育室設置ワーキンググループ（以下 WG と略す）」が行なった。この WG は、名称が示す通り、年会から認められてはいるが、正式な年会の組織ではない。また、年会の運営費においても、場所と設備の提供は年会から行なわれ、シッター代は利用者負担と企業からの寄付でまかなった。

これらの状況をふまえ、今後の保育室運営について、以下のことを検討事項として提案する。

- 1) 保育室を、分子生物学会として認めてもらいたい。
- 2) 保育室は毎年継続して設置して欲しい。
- 3) 寄付を貰わず、利用者負担と学会負担で行なって欲しい。

#### <具体的な運営方法について>

##### 1) 案内板

あらかじめプログラムでも保育室の部屋番号を伏せ、利用者以外にはわからないようにと配慮したが、連絡不行届きで会場には案内板が立っていた。

案内板については今後どうするか検討した方がいいと思われる。また、これに関して利用者にアンケートをとった（2-1 利用者向きアンケートの結果参照）。

##### 2) 見学者・部外者対策

事前に、見学は禁止しようとしていたにも関わらず、案内板を立てたせいもあり、見学者が多かった。中にはノックも声掛けも無く、勝手に中に入ってしまう人もいた。急遽、ドアにノックして下さい、シッターがドアを開けますと表示をした。

見学者対策を行なうべきである。

(例) 見学は予約制とし、昼間か夕方の子供が少ない時に限定する。

ドアに写真撮影お断りのはり紙をする。

ドアにノックして下さい、シッターがドアを開けますの張り紙をする。

ドアに鍵を掛ける。

##### 3) 緊急連絡

緊急連絡を携帯電話ですることにしてはいたが、携帯電話が通じない会場も多かった。急遽、シッターに本部の内線を教え、緊急時に携帯が繋がらない場合はそちらに連絡して会場呼び出しをお願いするよう伝えた。

利用者のみならず、当番も居所表（聞く予定の会場名）を保育室に提出した方がいい。また、緊急時における会場呼び出しの体制を整えておくことが必要である。

##### 4) 利用者間の連絡

今回連絡を取り合ったのは利用者と WG の間だけで、利用者は誰が利用するのかお互いにはわからない状況だった。

保育室利用者同士があらかじめ連絡をとれる様な体制があるとよい。

##### 5) 当日申し込み者の保育料

当日も余裕がある限り保育を受け付けたが、保育料は予約者と同じ設定であった。予約者は、利用時間の如何にかかわらず予約時間によって保育料を支払っているの、予約者と当日申し込み者との間で不公平が生じた。

予約割引もしくは当日割り増し制度を設定するとよい。



## 5. 親子休憩室に関する報告

### 5-1 運営と利用状況

#### <運営>

場所：パシフィコ横浜・会議センター内

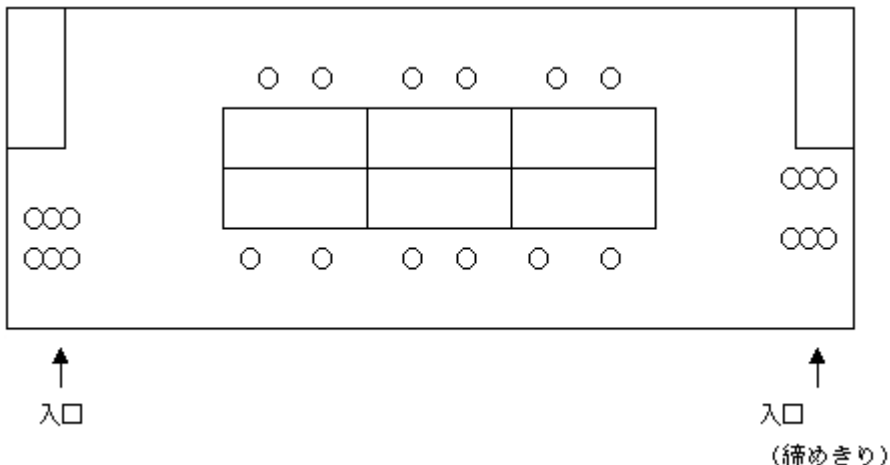
注：防犯のため利用者以外には部屋番号を公表いたしません。

臨時設置電話（保育室直通）・・・045-xxx-xxxx

時間：プログラム開催時間すべて

利用方法：予約不要、利用者が適宜利用する。

レイアウト：下図。机は前に板のないものを使用した。



#### <設置>

パシフィコ横浜に机と椅子を設置してもらった。

机8台、椅子24脚を使用した（すべてパシフィコ横浜からレンタルした）。

#### <撤去>

最終日に利用簿を回収し、ポスターを剥がした。

片づけはパシフィコ横浜にお願いした。

#### <事前に行なったこと>

- 1) 下見をし、レイアウト、レンタル品（机と椅子の数）を決めた。
- 2) レンタル品とレイアウトとを、学会センターを通してパシフィコ横浜に連絡し、設置してもらうよう依頼した。

#### <当日行なったこと>

- 1) 利用簿を置いた。
- 2) 以下のことを書いたポスターを貼った。  
「お子さん単独ではなく、必ず保護者同伴の上御利用下さい。  
使用済みのオムツ及びその他のゴミは全てお持ち帰り下さい。  
利用簿に記入をお願いします。」

#### <利用状況>

10家族21人利用。（このうち7家族は保育室利用者）

## 5-2 利用者の声

- 1) できれば、親子休憩室も床に直接座れるスタイルにしてほしい。椅子は転落の可能性があり、危険。
- 2) 長時間は利用しなかったが、保育室利用の前後に利用して助かった。
- 3) 子供がいると遠慮しなくてはならない部分も多く、親子休憩室であればおちついて子供といられる。
- 4) 今回の会場では必要なかったが、京都国際会議場などの他の会場では必要となるかもしれない。
- 5) レストラン等がなかったら、食事などに利用すると思うので、設置してほしい。
- 6) あまりに会議室の雰囲気が強く、子供がいやがっていた。
- 7) 今回は外食にしたが、時間がせわしいので、今度はお弁当にする予定。そのときは利用したい。
- 8) ポスター会場にも休憩室があるとよかった。

## 5-3 反省と検討事項

- 1) 今回は親子休憩室に机と椅子を設置したが、雰囲気が悪いという意見や、床に座る形を希望したり、お弁当を食べたい等の希望があった。休憩室を希望する声は多いので、今後はその内容を検討し充実させるとよいと思われる。
- 2) ゴミを持ち帰るよう掲示したが、大きめのゴミ箱を設置してゴミを捨てられるようにしたらいいのではないか。
- 3) ティッシュを一箱置いておくと便利である（利用者からの声）。
- 4) ポスター会場にも欲しいという声があった。今後、場所や数についても検討する必要があると思われる。

## 6. あとがきと提案

これまでのべてきたように、第24回年会で初めて保育室を開設してみると、4日間で17家族、のべの児童数34名という、今までの日本の学会で最も利用者数が多いという予想以上の結果となりました（APPENDIX 3）。同時に子供を預けた学会参加者からは、「保育室の設置によって、学会に満足に参加できました！」などの感謝の声が多く寄せられ（APPENDIX 2）、保育室は単に子育て研究者への支援というだけでなく、会員の学会参加を促す“学会の一層の活性化”にも重要な役割を果たすことが明らかになったといえます。

しかしながら、その運営にもなって、いくつかの問題があることも同時に明らかになってきました。それは、（1）財政面と（2）運営面のふたつに大きく分けられます。

財政面：今回、年会から会場の提供と設備費の援助を受けましたが、それだけでは利用者にとって保育料が高額になりすぎることから、企業の寄付を受けました。しかし、大会とは別に保育室のためだけへの寄付を依頼する作業は、事務的に煩雑であるばかりか、大会本体に寄付を行っている企業に追加寄付を依頼することになり、企業側からみると理解しづらい部分が残った可能性があると思われます。また、継続的に設置すべき保育室の運営のために、その年その年の個別寄付という不安定な財源に多くを頼ることに無理があると言えます。

運営面：保育室を実際に準備／運営するには、そのための業務を担う安定的な運営主体が必要です。今回はWGがその作業を行いました。メンバー間の打ち合わせ、会場の下見、シッター会社との打ち合わせ、利用予定者との連絡、数々の書類の作成、事前／事後の会計処理等の非常に多くの業務があることがわかりました。さらに、それらに伴い、郵便代、印刷代、交通費、文具等の費用も発生しました。しかしながら、今回のように、時間的、金銭的コストを負担しながら、WGというボランティア組織のみで継続的に保育室の運営業務を担い続けることには大変な無理があります。

そこで、私共、WGは、小川学会長をはじめ、学会評議員の先生方、会員の皆様方に対して、今後の年会保育室の運営に関して、以下の提案と要望をしたいと思います。

- （1）現時点では、保育室が設置されるか否かは年会ごとに決定されますが、今後も継続して年会保育室が運営できるよう、まず、保育室設置を学会として認知して頂きたいと要望いたします。
- （2）その上で、今後、年会保育室を恒常的に設置していくために、学会が、その意義を踏まえて運営を財政的に支援すること、また、WGというボランティア組織ではなく、学会事務センター等の事務機関に業務を委託できるようにすることを提案いたします。事実、APPENDIX 3にも示しましたように、分子生物学会と同規模の日本生化学会の保育室は、学会事務局が運営していることも、ここに申し添えます。

なお、最後になりましたが、今回の年会保育室設置の趣旨にご賛同いただき、快く寄付をお寄せ下さいました企業11社（賛助企業の項参照）に心より感謝申し上げます。

平成14年2月16日

第24回日本分子生物学会年会・  
保育室設置ワーキンググループ一同  
池島宏子（慶應義塾大学）  
大坪久子（東京大学）  
菊池淑子（東京大学）  
木村洋子（東京都臨床医学総合研究所）  
三宅早苗（東邦大学）  
(あいうえお順)

7. APPENDIX 1 今回作成した書類
  - 7-1 [策定書](#) (pdf ファイルでダウンロード)
  - 7-2 [申込書・同意書](#) (pdf ファイルでダウンロード)
  - 7-3 [利用規定](#) (pdf ファイルでダウンロード)
  - 7-4 [連絡票](#) (pdf ファイルでダウンロード)
  
8. [APPENDIX 2 分子生物学会年会保育室利用者の「生」の声](#) (pdf ファイルでダウンロード)
  
9. [APPENDIX 3 他の学会における保育室運営形態](#) (pdf ファイルでダウンロード)